

**本年も例会毎に最新情報やトピックスをお届けします。  
どうぞ宜しくお願い申し上げます。**

## ●国交省で「汎用スキャンツール普及検討会」が進んでいます。

平成22年7月より東大・芝浦工大の教授、日整連、独立検査法人、軽自動車検査協会、自動車工業会、機械工具協会などを構成メンバーとする「汎用スキャンツール」に関する検討会が進められています。自動車メーカーにどの範囲まで情報公開させるのか？スキャンツールにどの程度までの機能を搭載するのか？また診断の際の工数の検討や診断レポートの基本フォーム作成、整備事業者に対するツール技術認定制度など幅広く検討されています。スキャンツールの標準仕様を検討する分科会での実態調査ではロータストラックネットも参加。低価格を望む声と24V車の対応を望む声が一番多く、ツール導入にあたっての補助制度を求める声もありました。

検討会では3月末までに結論を出すことになっていますが、ディーラーを除く整備事業者に対して5年以内に保有率90%以上を目指す事が資料で示されており、普及の為の施策が検討されていく事と思われます。LOSSO-9 製造元であるエムログは毎回オブザーバーとして検討会を傍聴しており動向を注視しています。

## ●内閣府「第9次交通安全基本計画に関する公聴会」

10月22日に開催された公聴会で株式会社ヤマハより自動車整備に携わる者の観点から公述がなされました。(ヤマハさんはLOSSO-9のOEM機であるイーグルキャッチの販売パートナーです)「国はOBD義務化により環境に対する取組みを進めているけれど、安全に対する取組みは進んでいない。スキャンツール普及検討とあわせてエアバッグ・ABSの点検を確実に実施し交通安全を確保する為にも自動車メーカーからの情報開示をもっと促すべきである」というのが主旨です。エアバッグ・ABSの点検の重要性を訴える場面ではLOSSO-9で収集したデータ(エアバッグの故障コード検出率1.29%、ABSの故障コード検出率5.72%)も披露されました。当日の資料や議事録が内閣府のHPで公開されていますのでぜひご覧ください。

<http://www8.cao.go.jp/koutu/kihon/keikaku9/public/index.html>

## ●ユーザー専用ホームページには情報いっぱい！

最新のメーカー別車種対応表、収益アップツール、アップデート履歴などの情報をユーザーだけに公開しています。ぜひアクセスしてみてください。

<http://www.losso-9.com> ※トップページ下部にメンバーページの入り口があります。

ユーザー専用ホームページへ入るにはIDとパスワードが必要です。

ID・パスがご不明な方はロータス九州支店へお問合せ下さい。